「小林式誘引捕獲法」の罠設置実演会を行いました

令和２年６月２６日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、現在神石高原町の森林(国有林、民有林)において、林業関係者らが有機的に連携し、より効果的なシカ捕獲に取り組むとした仕組みについて関係機関と調整を進めていますが､それに先立ち、6 月 25 日神石郡森林組合会議室において、近畿中国森林管理局が重点的に奨めている「小林式誘引捕獲法」の罠設置に係る講演と､実際の設置実演を行いました。

参加した林業関係者、行政、猟友会の皆さん

講演には、神石高原町の獣害担当者、猟友会、森林組合など総勢 26 名の参加がありました。まず、近畿中国森林管理局保全課の小林保護係長(「小林式誘引捕獲法」の発案者)から、小林式誘引捕獲法の仕組みや、設置に当たっての留意点、具体的な設置場所の選定基準など、多岐にわたって詳細な説明を行いました。

小林保護係長の講演

その後、神石郡森林組合の倉庫に移動し、実際に設置する上でのポイント、設置の方法や様々なくくり罠の説明などについて、実演を交えて説明しました。

参加者からは､「どの頻度で捕獲できるのか」「ワイヤーのメンテナンスの周期は」な

ど、多くの質問が出されました。

罠の設置操作を見入る参加者

広島北部森林管理署では、今回の実演会での意見や、神石高原町での駆除態勢などを踏まえ、必要な罠を準備するとともに、神石高原町、神石高原町有害鳥獣捕獲対策協議会、神石郡森林組合、森林整備センター中国四国整備局広島水源林整備事務所と広島北部森林管理署との５者間での協定締結を目指します。